

Kanagawa East
Rotary
Club



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2021-2022年度 第20週報 No. 2163 2022年(令和4年) 1月7日 第2163回 例会記録 1月14日発行

本日〈1月14日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 週替わり弁当
- ◆ 卓話

『帝王気学で読む経営者の指針！』

令和4年度「壬寅・五黄土星年」の展望と指針
開運気学鑑定士 天道 象元 様
(紹介者 加野 亮一 会員)



写真提供 小池 将夫

司 会

馬場 佳子 副幹事

点 鐘

小山 市康 会長

斉 唱

「君が代」「奉仕の理想」
ソングリーダー 角野 弘幸 会員

四つのテスト

森永 健 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ビジター紹介

第2590地区第4G 現年度ガバナー補佐 桑原 薫 様
第2590地区第4G 前年度ガバナー補佐 枅崎 一之 様

特別行事

◆ホテルへ謝礼贈呈



ホテルキャメロットジャパン 営業 宮脇 修 様

2021-2022年度 R I 会長 シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第2590地区 ガバナー 小倉 正

会 長	小 山 市 康	会 計	渡 邊 淳
会長エレクト	赤 堀 伽寿一	副 会 計	長 野 毅
副 会 長	横 溝 亘	S A A	古 澤 一 憲
副 会 長	加 藤 仁 昭	副 S A A	加 野 亮 一
幹 事	友 添 辰 哉	副 S A A	吉 田 隆 男
副 幹 事	馬 場 佳 子	クラブ会報	清 水 茂 夫

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

幹事報告

友添 辰哉 幹事

- ・1月23日（日）開催 R L I パートIIのご案内を回覧致します。まだ受けられたことのない方はご参加の程、よろしくお願ひします。参加を希望される方は事務局まで申し出ください。
- ・当クラブ宛に届いております年賀状を回覧します。
- ・次週、例会終了後に1月度定例理事会を開催致します。

結婚記念日祝

友添 辰哉 会員（1月11日）



入会記念日祝

山木 幹夫 会員（1月8日）



スマイルボックス

古澤 一憲 SAA

第4Gガバナー補佐 桑原 薫 様（横浜港北RC）

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

『令和4年・元旦』横浜市中央卸売市場本場協の橋で多くの人が見守る中、太陽が顔を出した“初日の出”。カメラとスマホで撮影や、今年一年の安寧を祈願する姿も見られました。

“コロナが一日も早く終息し、幸せな一年になりますように・・・”

【写真提供 小池 将夫 会員】

表紙の写真 T20



第4G直前ガバナー補佐 柘崎一之 様（横浜東RC）

神奈川東RCの皆様、明けましておめでとうございます。次々と色々なことが起こりますが、負けずに前進して参りませう。本年もよろしくお願ひ致します。

小山市康君 ①新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。②桑原ガバナー補佐、柘崎直前ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。よろしくお願ひします。③年忘れ家族会が楽しく行われ、矢野委員長はじめ親睦活動委員会の皆様、お疲れ様でした。

友添辰哉君 新年明けましておめでとうございます。結婚祝い、ありがとうございました。昨日、家の周りを夜9時まで雪かきしていました。

山木幹夫君 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

田邊正彦君 明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

月山 勇君 2022イヤヤー、3776カラット、ダイヤモンド富士、素晴らしき正月、今年もよろしく。

山本 登君 今年もよろしく！

矢野修二君 謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は親睦活動委員の皆様には大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

伊東英紀君 明けましておめでとうございます。今年もよろしく。

河野明光君 本年もよろしくお願ひ致します。

加藤仁昭君 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

飯田泰之君 新年おめでとうございます。今年一年、皆様のご多幸をお祈りします。

渡邊 淳君 新年のご挨拶に代えて。

山本芳弘君 昨年、師僧が亡くなりまして、年賀状は控えさせて頂きました。お許し下さいませ。本年もよろしくお願ひ致します。

植田清司君 皆様、新年おめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

須永久一君 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

天野公史君 ①新年おめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。②桑原ガバナー補佐、柘崎直前ガバナー補佐、今年もよろしくお願ひ致します。

横溝 亘君 皆様、昨年中はお世話になりました。本年もよろしくお願ひ致します。

赤堀伽寿一君 おめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

岡部雄一郎君 新年明けましておめでとうございます。神奈川東ロータリーの皆様にとって良い一年になることを祈念申し上げます。

角野弘幸君 明けましておめでとうございます。寅年ですね。本年もよろしくお願ひします。

北村大輔君 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

1月7日	23件	83,000円
本年度累計		889,550円
年度目標進捗状況		-16%

出席報告

北村 大輔 出席委員長

会員総数	47名	(28+19)名	
出席会員数	32名	(21+11)名	
出席率	82.05%		
ゲスト	0名	ビジター	2名
前回補正後	86.36%	前々回補正後	88.64%

新年挨拶

◆会長 小山 市康



皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年はコロナの影響を受けながらも、皆様のご協力により無事にクラブ活動ができたことを感謝申し上げます。新型コロナウイルスが発生して丸二年が経ち、今は第6波が心配な状況です。今年も皆様の健康を第一に考え活動して参ります。引き続き感染防止対策をお願い致します。

今年度前半を振り返ってみますと、まん延防止期間中での船出となり、荒波に揉まれながらの様子見で事業を進めて参りました。クラブ活動内容の話題の中心は、すべて新型コロナが居座ったことばかりで何か整然としませんでした。

今年度はガバナー訪問が早かったことから、例年になく準備の早いスタートでしたが、8月からの緊急事態宣言は延期が続き休会になってしまい、やっと10月1日に例会が再開できました。その間、プログラムの日程変更を余儀なくされたことで、各委員長の新年挨拶ができなくなり、各委員長の肉声が聞けなかったことは残念なことでした。

また、吉田ガバナー年度の慰労会を夜間例会とし、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルで行う計画でした。これも延期が続き最終的に例会とは切り離しての慰労会となりましたが、内容は月山PPと矢野PPが中心に計画して頂き、来賓の方々を多数お招きし盛大に開催することができ、皆が楽しみ大成功でした。

緊急事態宣言で社会奉仕のクラブフォーラムが延期となり、職業奉仕のクラブフォーラムと合同テーマで「社会奉仕・職業奉仕において環境問題に取り込めることとは何か」を様々な視点からご意見を頂きました。将来だけではなく、すぐにも対応すべきことであると実感できたフォーラムでした。

また、区民まつりが中止となり代替で社会奉仕活動として10月10日反町公園・アイスアリーナ周辺の清掃活動を行い、11月3日に岸根公園の花壇花植えを行い環境保全に努めました。

そして12月19日、年忘れ家族会が行われ、今年は趣向を変えヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルで、年末最後に相応しい家族会となり家族皆に喜ばれたのが印象的でした。矢野親睦活動委員長はじめ親睦委員の方々、ありがとうございました。

会員増強においては、加野さんからたくさんのご紹介を頂き、また赤堀さんからの推薦で、北村敦さんにご入会頂きました。クラブの維持また発展を望むために今後もクラブを上げて取り組んで参ります。

デジタル関係のことでは、初めての試みとして9月度定例理事会をオンラインで開催致しました。友添幹事と事務局の田中さんと3人でデモンストレーションを行ったことが思い出されます。また、反町公園・アイスアリーナ周辺の清掃活動でビデオ撮りを行いネット配信したことや、その清掃活動を神奈川区民まつり「動画でワッショイ！」に応募致しました。そして、当クラブのホームページをリニューアルしました。

ロータリー財団奨学生の伊藤主峰さんからは8月度定例理事会でご挨拶を頂き、8月23日スペインに出発、その後近況の便りを頂きました。米山奨学生の李受倫さんは、7月以来お会いできなく残念でしたが、10月から就職されております。

新型コロナの影響も受け、当クラブとしては例会のあり方や会場の選定について、将来のクラブ運営に大きく関わってくる問題となっています。プロジェクトチームを立ち上げ進めることになりましたが、皆様の様々な情報を取りまとめることとなりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

今年度は例会・奉仕活動・行事などを兼ね、変則的な構成で行うこともありました。今後、新型コロナ第6波がどのような影響を及ぼすかは分かりませんが、各奉仕委員会の活動には皆様から全面協力を頂き、今年度前半のやり残しを、後半で出来る限り挽回し、そして春の家族会で盛り上がり6月の最終例会まで繋げていきたいと考えております。

コロナ禍で活動が対外的に活発に出来なくとも、クラブ内なら出来ることがたくさんあります。皆で思いやりをもって行動しましょう。神奈川県東ロータリークラブは協力的でネットワークが素晴らしいクラブです。

本年も引き続き温かなご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

◆副会長 横溝 亘



皆様本年もよろしくお願い致します。

昨年7月より小山会長のもと副会長としてクラブ奉仕委員会の活動を見させて頂いておりますが、各委員会の委員長を中心にコロナ禍で自粛が求められる中でも創意工夫されました活動を行って頂いておりますこと、感謝致します。

また、当クラブから1名の感染者も出ていないということに誇りに思うところではありますが、このところ新種のウイルスの発生で感染者数も徐々に増えつつある状況ですので、気を引き締めなければならないと思っております。

あと半年間、無事小山丸が帰港出来ますよう私も気を引き締めてゆきたいと思っておりますので、会員皆様方の更なるご協力をお願い致します。

◆副会長 加藤 仁昭



新年明けましておめでとうございます。

昨年前半は地区活動に、後半は小山年度に、会員の皆様より多大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2年前からの新型コロナウイルスは、一時収まる気配が見えましたが、残念ながら再び、オミクロン株により第6波を向かえようとしている現状であります。

小山年度後半も理事・役員一同、ウィズコロナに対応しながら頑張りますので、本年もご協力よろしくお願い申し上げます。

◆幹事 友添 辰哉



新年明けましておめでとうございます。

本年度も早いもので半分が過ぎました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令された為、8月第1週より9月末まで通常例会が休会となりました。休会中のおり、定例理事会は月1回、Webでの開催も絡めながら行いました。

このような状況下ではございましたが、前半までの主要な行事を振り返ってみたいと思います。

本年度が始まる前の6月25日にガバナー補佐公式訪問があり、次年度クラブ協議会を開催致しました。

7月の第2週にガバナー公式訪問がありました。この直後、緊急事態宣言の発令となりました。

8月の理事会では、2021-22年度ロータリー財団奨学生の伊藤主峰君にお越し頂きました。8月23日よりスペインへ留学するため、本クラブを代表し小山会長よりお餞別をお渡しました。

9月3日、広報・IT委員会を開催致しました。小池委員長が中心となり会員増強にもつながる当クラブのホームページリニューアル等について意見交換を行いました。

10月からは緊急事態宣言も解除され、通常例会が始まりました。10月の区民まつりが12月19日に動画配信で開催することと決定し、岡部社会奉仕委員長が中心となり10月10日に反町公園・横浜銀行アイヌアリーナ周辺の清掃動行いました。

10月18日、地区大会記念「チャリティーゴルフ大会」が相模カンツリー倶楽部にて開催されました。当クラブからは9名が参加致しました。

10月21日、コロナ感染拡大の為中止されていましたが第2590地区第4グループ会長・幹事に小山会長と参加致しました。

11月3日、岡部社会奉仕委員長が中心となり、恒例の地区補助金プロジェクトによる岸根公園の花壇花植えを行いました。

11月5日、社会・職業奉仕委員会合同でクラブフォーラム、11月26・27日パシフィコ横浜会議センターにて地区大会が開催されました。

8月27日より延期となっておりました吉田ガバナー年度慰労会を、11月19日にヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて盛大に行うことができました。発起人の小山会長、月山会員、矢野親睦委員長には心よりお礼申し上げます。

また、12月19日には親睦活動委員会による年末恒例「年忘れ家族会」を矢野親睦活動委員長の肝いりで場所をヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルに変え、いつもとは違った

雰囲気スタイルで家族会を無事に開催することができました。田邊会員には毎年シクラメンを寄贈して頂きありがとうございます。また、家族会でも紹介をさせて頂きましたが、新会員の川崎典子会員、長野毅会員、北村敦会員の3名に入会して頂き、大歓迎です。川崎会員には年末の大晦日にホームページの移管、編集更新をして頂きました。ありがとうございました。

前半のご報告は以上となりますが、それぞれの活動にご参加、ご協力を頂きました皆様、誠にありがとうございました。後半の活動につきましては、私もクリスマスにPCR検査を受けましたが、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の様子を見ながら行いたいと思います。

本年もクラブ運営に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

◆会計 渡邊 淳



期中9月よりピンチヒッターで会計を仰せつかりました。

コロナ禍も3年目に入ろうとしている中、ロータリー年度は下半期に入りました。ここまでの試算表を見ますと10月から通常例会も復活し、ほぼ例年に近いバランスの収支となっておりますが、やはり休会が多かった影響でスマイルが目標に至っておりません。ご存じのとおり奉仕予算の全額は皆様のスマイルによって成り立っておりますので、ぜひスマイルの活性化に皆様の一層のご協力をいただくようお願い申し上げます。

3回目の冬を迎えようとしているこの感染症もいずれ終息するものと願うところですが、コロナ後はコロナ前には戻りません。物価の高騰をはじめ産業構造やビジネスモデルの変化によって、私たちのロータリー活動もまた変革を強いられてまいります。そういった事柄の準備やシミュレーションを頭に置きながらクラブの下半期、会計のお仕事を務めてまいります。

皆様には一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

2022年1月

ロータリー創設時の基本理念の一つは、「世界でよいこと」をするために、医師でも弁護士でもエンジニアでもほかの何の職業でも、自分の職業を生かすということでした。パンデミックに打ち勝ち復興を図る今、この基本理念は失業した人びとに再就職の訓練を実施する上で非常に重要です。そのため、Tamar Hong Kong ロータリー衛星クラブが変わりつつある仕事の世界に青少年を備えるためのセミナーを企画しました。

こういった研修は大規模に行われるべきです。国連によると、世界の失業者数は2022年には2億人を超える見込みだといえます。女性と青少年の間で特に失業率が高まることと思われます。だからこそ、今年度は女兒のエンパワメントのプロジェクトをこれほど推奨しているのであり、そういったプロジェクトが実施されているのを嬉しく思っています。また、水と衛生のインフラが不整備なために教育機会と就業機会が損なわれるということもあります。

インド西部の都市ブネーでは、女性と少女に安価で再利用可能な生理用ナプキンを提供するプロジェクトが行われています。このプロジェクトでは生理用ナプキンの製造と販売で職を創出し、インドで処分されている年間123億個の生理用ナプキンによる環境破壊を軽減します。その多くが埋立地に投棄されているのです。

ほかには、職業訓練サービスにより女性のエンパワメントを推進しているプロジェクトもあります。Poonaロータリークラブ（インド）は若い女性が虐待や人身売買の被害から身を守るように護身術を教えるワークショップを開催しています。

私はロータリーを通じて職業を生かしてよいことをする機会に恵まれてきました。2004年のスマトラ島沖地震では、私の地区にあるアンダマン・ニコバル諸島に壊滅的な被害が出ました。何千軒もの住宅が全壊し、多くの地域で電気と水の供給が止まりました。小アンダマン島の状況を見に訪問した際には、建築に携わる職業人として、家を失った住民たちのために住宅を建てたくて居ても立っても居られませんでした。それで、小アンダマン島に500軒の住宅を建てることを決定しました。この島は都合7回訪れたのですが、最後の回で、ヘリコプターが上陸寸前というときに下方で何かきらめくのが見えました。新築の家々の屋根だったのです。この光景に私は心から感動し、あることにすぐ気がつきました。それはこういうことです。職業柄、私はこれまで多くの見事な建物を手がけてきました。それに比べると、小アンダマン島の500軒の住宅は私が手がけた中でもごく普通の家で、おそらく二度と訪れることはない島の二度と会うことはない人びとのために建てたものです。それでも住民の方々に完成した住宅を引きわたすときの充足感は、これまで建てたどんな建物よりも大きかったです。おそらく、このとき初めて私は自分の仕事を生かしてみんなの人生を豊かにするために奉仕したからなのでしょう。

皆さんも、みんなの人生を豊かにするための奉仕で職業上のスキルを活用する機会がこれまであったことと思います。

ロータリーを通じて職業人として奉仕した経験について、ぜひお聞かせ下さい。最後に、全会員がひとり1名新しい会員をロータリーに紹介するイニシアチブの「Each One, Bring One」

ロータリーニュース

RI会長からのメッセージ

(みんなが一人を入会させよう)に協力してくれたすべてのクラブに感謝します。会員数を増やすことは、あらゆる類の職に就いている人びとに、知識とスキルを生かして人生を変える奉仕を行う機会を与えることにつながります。

シェカール・メータ
2021-22年度会長

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

米国

Novatoロータリークラブ(カリフォルニア州)は9月に公民館のオープニングを迎えました。このプロジェクトは、2007年に古株メンバーのビル・ジョナスさんが500万米ドルを遺贈したことに始まりました。同クラブは公立コミュニティカレッジのカレッジ・オブ・マリンと協力し、同カレッジのインディアンパレー・キャンパスの敷地内に約1,500㎡の公民館を建設。何百人も収容できるパーティースペースも、キッチンも、最新の音響設備が導入された舞台もあります。同クラブはプロジェクト費用全体の3分の1ほどを負担し、75年リース契約を結び、ベネファクターである故ビル&アデル・ジョナス夫妻の冠名権も取得。今では例会を公民館で行っています。「何年もかかりましたが、私たちはあきらめませんでした」と同プロジェクトの計画委員会合同委員長のソニア・シーマンさんは言います。

アンティグア・バーブーダ

暑いリーワード諸島はバカンスを楽しむ観光客には喜ばれますが、住民にとっては悩みの種です。近年続く深刻な干ばつのせいで水は配給制になり、脱塩水に頼る日々になっています。手に入る水を最大限に活用するために、Antiguaローターアクトクラブは障害を抱える人びとの協会のために12基の雨水貯留タンクを設置するプロジェクトを立ちあげました。「全世界に新型コロナウイルス感染が拡大する中、これで手洗いと適切な衛生習慣が促進されます」と、約1,850ドルかかったこのプロジェクトについて元クラブ会長のティアナ・ハリスさんは話します。34名の会員を擁する同クラブは精力的にプロジェクトを実施しています。9月には、Mémorial des GonaIvesローターアクトクラブ(ハイチ)とFreetown Sunsetローターアクトクラブ(シエラレオネ)と合同で行ったSave Our Shores清掃作戦の一環として、地元の海岸でゴミ拾いを行いました。ほかにも、無料のHIV検査や職業訓練、クリスマスのお祝い、スプリング・ビー(スプリングコンテスト)などのプロジェクトに取り組んでいます。

英国

ロータリーが支援する推進計画で、英国でホームレスとして暮らす人びとが雨露をしのげるように何万個ものテントが配られました。1個約40ドルかかる一人用の軽量テントは、助けを必要とする人びとが冬を越せるように短期的な解決策として採用されました。「内輪以外でSleep Podを初めて披露したのがロータリアンでした」と、ふたりの友人とSleep Podチャリティ団体を創立したジャスティン・デヴァルーさんは言います。

Erdington ロータリークラブと第1060地区のほかのクラブが経済的に援助し、パンデミックの広がる中、何百人ものロータリアンやボランティアが自宅でテントを組み立てて協力しました。「路上生活や野宿で低体温症や曝露により亡くなる方はまだいますが、Sleep Podはどのような理由であれ空の下で眠る人びとのために私たちができるせめてもの援助です」とデヴァルーさん。

エジプト

2019年にアパートメントのバルコニーの向かいで巣を作っているチョウゲンボウ(小型のタカ)に興味を持ったことがきっかけで、ジョージナ・コールさんはeBirdというオンラインのデータベースで観察記録をつけはじめました。「周りにいる鳥たちのことをもっとよく知らないといけないことに気づいたんです」とRed Sea-El Gounaロータリークラブ会員のコールさんは言います。同クラブが拠点を置くスエズ湾沿いのリゾート地区は、欧州からアフリカへと渡る100万種を超える渡り鳥の中継地点となっています。地元の学校から生徒に説明をしてほしいと依頼を受けて、コールさんは鳥の紹介カードを英語とアラビア語で作成しました。クラブの協力を受けた彼女の活動に啓蒙されて、地元の町は湿地帯を見渡せる観察小屋を設置しました。さらに、季節ごとに訪れる異なる野鳥について地元のホテル経営者に研修も行うようになりました。「紅海一帯はスキューバダイビングやスノーケリングなどの海洋レジャーがさかんで観光業が栄えています」とコールさん。「野鳥観察もとりいれたらさらに魅力が増えますよね」

タイ

新型コロナウイルスのパンデミックが始まってから、Eastern Seaboard ロータリークラブは30件以上の食料配布を中心となって行ってきました。元クラブ会長のロドニー・チャーマンさんは、ロックダウンにより壊滅的な被害を受けた海岸沿いのパタヤ市を支えているのは同クラブだと言います。「観光業がダメになるとタクシー運転手もホテル従業員もバー従業員もみんな失業してしまい、中には路上生活をする人や保護施設に入る人も出てきました」とチャーマンさんは言います。同クラブは地元のフードバンク(過剰食品や器学外製品、売れ残りを生活困窮者などに配給する団体)や社会福祉団体と連携し、警察と協力して必要な物資の配給を行っています。8月に行う大規模な配布に向けて、5名の会員が3日間かけて食料品の買いつけ、輸送、包装を行い、チキンとライス弁当と米・卵・飲料水・魚の缶詰・調理油・マスクなどが入った袋を400人分用意しました。同クラブはその後も繰り返し大規模配給を実施しています。

ロータリーニュース

次回〈1月21日〉の予定

「江戸時代の食文化」

株歴史と文化の研究所 代表取締役 渡邊 大門 様
(紹介者 茂木 知子 会員)